

普段からの備えが 誰かを助ける

6月22日、上ノ国町消防団(田端武光団長)による総合演習が役場前駐車場で行われ、町内全分団(9分団)と婦人防火クラブ、消防署職員など89名が参加しました。

晴天に恵まれたこの日の総合演習では、ポンプ操作や放水などの訓練のほか、火災発生時の消防署と消防団の連携について綿密な訓練が行われました。いつ起こるかわからない災害に備えて、参加者は、約3時間に渡り、真剣に訓練に取り組んでいました。



パークゴルフで 地域間交流

6月28日、上ノ国町社会福祉協議会(大島司会長)が主催する第1回赤い羽根共同募金パークゴルフ交流大会が開催され、町内外から33名が参加しました。

パークゴルフを通して、「地域の絆を深めるため、多くの方々が世代を越えて交流してほしい」と期待して、今年初めて開催しました。

来年も開催を予定していることから、たくさんの方々参加を望んでいました。



職人技で 地域に貢献

7月11日、上ノ国建設業技能者協会(松塚清人会長)主催による無料刃物研ぎサービスが北村コミュニティセンター前にて実施され、地域のお母さん方を中心に、約80丁の刃物類が持ち込まれました。

建設業に従事する会員が日頃磨いた技術で地域に貢献することを目的に、毎年行われているサービスです。持ち込まれた刃物の多くは、料理に使う包丁や家庭菜園用の草刈り鎌など、日常使っているうちに切れ味が落ちていた刃物類で、砥石の往復と共に少しずつ本来の切れ味を取り戻していました。持ち込んだ方々は喜びとともに、研いでくれた方に感謝を伝えていました。



事故が起きない まちを目指して

7月11日、大留地区交通安全協会(森田豊彦会長)主催による交通安全街頭啓発運動が行われ、商工会青年部や大留子供会など約30名が参加しました。

本町では、今年4月に交通事故死亡事故ゼロが連続二〇〇〇日を達成したところですが、この記録は各地区のこうした地道な交通安全運動が実を結んだ結果です。

この日、大留子供会の方からは、「最近、スピードを出す車が目立ったので、普段から心配で」「自分の子どもも心配だが、他の子にも事故にあってほしくない」と参加された理由を話され、地域全体で事故を起こさないという意識が強く感じられました。

